

# T O T O 株 式 会 社

## 1. 会社の概要

- (1) 会 員 名：TOTO株式会社
- (2) 所属部会：関東電気機器部会第2分科会
- (3) 資 本 金：355億7,900万円  
従業員数：連結24,159名，単独8,217名
- (4) 営業品目

① 住宅設備機器：衛生陶器（大便器，小便器，洗面器，手洗器など），システムトイレ，腰掛便器用便座（「ウォシュレット」など），ユニットバスルーム，システムキッチン，洗面化粧台，水栓金具（各種給水栓，排水金具など），浴槽，人工大理石カウンター（「マーブライトカウンター」など），浴室換気暖房乾燥機，水まわりアクセサリ，福祉機器などの製造・販売

② 新領域事業商品：環境建材（タイル建材，「ハイドロテクト」塗料など），セラミック（精密セラミックス，光通信部品など）の製造・販売

### (5) 企業理念

1962（昭和37）年，創業以来の伝統を尊重しつつ，将来にわたって企業活動の基調になるものとして「社是」が制定されました。社是である「愛業至誠」は，「奉仕の精神でお客様の生活文化の向上に貢献し，一致協力して社会の発展に寄与する」という決意を表す言葉です。

また，この社是が伝えようとしている思想を基本とし，「企業としての存在目的」「事業領域」「在りたい姿」を示したTOTOグループ企業理念を制定しています。

（詳細は以下URLを参照ください）

（<http://www.toto.co.jp/company/profile/>

[philosophy/group/index.htm](http://www.toto.co.jp/philosophy/group/index.htm)）

(6) コーポレートブランドロゴ

# TOTO

## 2. 知的財産部門の概要

### (1) 組織上の位置及び名称

現在知財部門は，知的財産センターと称し，法務本部に属しています。

### (2) 構成及び人員

知的財産センターは，特許に係る出願・権利化・権利活用を行う特許グループ，意匠・商標に係る出願・権利化・権利活用を行う意匠・商標グループ，知的財産に係わる調査を行う調査グループ，手続き・システム・予算等を管理し，技術契約をサポートする管理・契約グループにて構成されており，総勢約60名の体制で業務を推進しています。

### (3) 沿革

1987年に特許管理部として発足し，1994年に知的財産部となりました。

1998年には全社にプロパテント宣言を発令して，知的財産活動の強化に努めてきました。

また，2011年にグローバル化するTOTOグループの事業活動を，法と権利の側面から支援するとともに，コンプライアンス意識の高い企業風土の醸成を推進するために，法務本部として，法務部門との連携を強化しています。

さらに，2012年度からは知的財産権だけでなく知的財産全体を事業部と連携してマネジメントしていくため，知的財産センターと改めてい

ます。

### 3. わが社の知的財産活動

弊社は2017年に100周年を迎えるにあたり、「TOTO Vプラン2017」を策定し、グループを挙げて取り組んでいます。TOTOグループは「真のグローバル企業」を目指し、環境貢献「GREEN CHALLENGE」を原動力として、国内外住設事業、新領域事業の分野でTOTOの“強み”に磨きをかけていきます。

#### (1) 知的財産方針・PAT推進会議

弊社では、上述した「TOTO Vプラン2017」達成のために、事業部と連携して知財活動を推進しています。

また、グループにおける知的財産方針として、お客様にとって価値のある信頼性の高い商品を提供するために、知的財産を尊重し、TOTOらしさの源泉となる自社の知的財産を適切に保護・管理・活用することを表明し、各事業部の開発・技術戦略と連動した「知的財産活動方針の明確化」「知財活動の活性化」を図ることを目的としたPAT推進会議を開催しています。

#### (2) 出願から権利化・権利活用

##### ① 自社商品の保護

上述したPAT推進会議にて審議された重要テーマについて、複数の視点による特許マップを用いて議論を交わし、特許出願網を構築するとともに、権利化した場合には、その特許をアピールする活動を行っています。

なお、出願にあたっては、市場性・技術性・特許有効性・設計回避性を考慮した特許資産価値評価を行っています。この価値評価は、早期に権利化すべき案件や海外出願すべき案件を抽出することにも利用しています。

また、各事業部において特許資産がどれくら

いあるかを把握できるようにその価値を数値化しています。また、継続的に価値ある権利を生み出して、この特許資産を維持向上させるように、期初に権利化する対象を明確にして対応しています。

##### ② ライセンス

光触媒「ハイドロテクト」技術においては、国内外にて100件を超えるライセンス許諾を行い、地球規模での環境浄化の普及に努めています。なお、この光触媒「ハイドロテクト」技術に係る特許に対して、2006年度に発明協会が主催する全国発明表彰で恩賜発明賞を受賞いたしました。

##### ③ その他の活動

模倣品対策として、現地子会社のスタッフと連携した排除活動や、弊社の登録商標である「ウォシユレット」、「カラリ床」、等の普通名称化を防止する活動を継続的に推進しています。

また、知的財産活動の総点検として内部監査室による知財監査を実施し、更なる活動強化に努めています。

### 4. 今後の計画・希望

グローバル展開の強化に努め、各地域でナンバーワンを目指して事業活動を進めています。これまで同様に日本にてコア技術の開発を推進していきませんが、今後は各地域の特性に応じた開発も進めていきます。そのため、グローバルにおける知的財産活動を推進する体制・基盤をより強化していく必要があり、グローバル知財人材の育成、各地域でのPAT調査体制・出願体制・システム環境・規定・しくみ等の整備を図っていきます。

(原稿受領日 2012年6月26日)